



はやね はやおき 朝ごはん テレビをとめて外遊び

平成30年度

別海町立野付小学校

学校だより No12

平成31年2月28日

発行責任者

# 三角帆

< あいさつ ・ えがお ・ おもいやり > 校長 山本 尋子

## ..... 1年間で育ったものは.....

いつになく穏やかな2月が過ぎ、もう3月、今年度もあと1ヶ月を残すのみとなりました。

2月は、東部スケート大会で幕が開きました。幸い天候に恵まれ、子ども達は力いっぱいの滑りを見せてくれました。

それに続いて、4月に入学する子ども達を迎えての1日入学。子ども達は1年生と楽しくふれあい、お母さん方は、入学に向けての話を真剣に聴いてくださいました。

高学年は、来年度前期児童会役員選挙がありました。今回からは3年生も仲間入り。立候補者を立て、4月から高学年として頑張る気持ちを見せてくれました。

そして、ふれあい参観日。6年生が、全校のみんなと来てくださったお父さん、お母さんのため豚汁をつくり、ふるまってくれました。これも、野付小の恒例行事、6年生にとっては全校のために腕を振るう最後になるのでしょうか。お父さんお母さんと楽しく作っている様子は、とても微笑ましいものでした。1年生から5年生まで、それぞれが親子の触れ合いの時間を持てたのではないのでしょうか。兄弟関係で、お母さんが他の学年に行っていない子ども達には、そばにいる友達のお父さんやお母さんが声をかけて下さり、子ども同士だけでなく、親同士の繋がりもまた大切なものと感じました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

さて、学校の2月から3月というと、今年1年のまとめの時期であり、次の年への準備を始める時期でもあります。それぞれどの学年も、学習内容の終盤に入り、まとめと習熟に力を入れています。

この1年間、子ども達が学んだことは学習だけではありません。それぞれの学年に応じた心の成長も著しいものがあります。4月の「三角帆」に書かせていただいた「心の種」を子ども達は、一人一人がその子なりに育ててきました。

家庭学習を続けて取り組み、さらに良いものを目指そうとする種は、たくさん子ども達の中で勉強を頑張るという気持ちになって、大きく育っています。人を思いやる種は、上級生が下級生と関わる時のやさしさとなり、周りの人へ感謝の気持ちを持てる素直な心が少しずつ育ってきました。

まだまだたくさんの種が、子ども達の中で育ち、また芽吹く時を待っています。子ども達の育ちは一律ではありません。でも、自分自身で育とうとする力はすべての子が持っています。その力を私達は、支え、引き出し、応援し、子ども達の成長を助けていきたいといつも考えています。

一日一日の成長は小さく気づかないこともありますが、それが365日重なることで大きく成長していきます。3月は、今年一年の子ども達の成長を改めて見つめなおし、認め、褒め、励ます時でもあります。そうすることで、次の学年へ希望と意欲を持って一歩踏み出そうとしている子ども達の背中を押してあげたいと思います。

校長 山本 尋子

